

## 「 美 術 I 」 シラバス

学科	商業科	学年	1 年	類型		組	5 組	単位数	2
使用教科書	高校生の美術 1 (日本文教出版)								
副教材等									

### 1 学習の到達目標

- (1) 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すことができる。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。
- (3) 美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

### 2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期の学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と 100 点法の評価をする。学年末において観点別評価を 5 段階の評定に統括する。

知識・技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表しているか。	(1) (2) (3) (6)
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしているか。	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。	(1) (4) (5) (6)
評価方法	主な評価項目	
授業観察	(1)制作の状況 (2)計画的な制作(発想から完成まで)	
作品	(3)作品の完成度 (4)独創的な表現	
課題の学習状況	(5)夏季休業中の課題	
鑑賞レポート	(6)鑑賞の感想や意見	

3 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	評価項目
一学期	オリエンテーション	・多様な美術学習について見通しを持ち、美術 I の学習の準備をする。	(2)
	素描(鉛筆デッサン)	・物を観察する姿勢を学び、デッサンの基本的な技術である、立体感、質感、位置関係などを学ぶ。	(2) (3) (6)
	絵画①(抽象画)	・自由に絵の具を塗ることで、多様な色彩が生まれることやマチエールの技法を理解するとともに、混色や色彩の基本を学ぶ。	(2) (3) (4) (6)
	鑑賞①(DVD)	・芸術家の生涯について学び、作品を生み出す苦労や喜びについて考えを深める。	(6)
	夏季課題(デザイン)	・人権ポスター制作により、人権意識を高めるとともに色彩豊かに明るい表現を心掛ける。	(3) (4) (5)
二学期	コラージュ作品制作	・コラージュ作品の持つ効果を理解し、構成や色合いを考えながら制作する。	(2) (3) (4) (6)
	絵画②(静物画・風景画)	・構図、色彩、陰影の表現、筆遣いなどを工夫し、より完成度の高い絵画表現を目指す。	(2) (3) (4) (6)
	鑑賞②(DVD)	・日本の作家の生涯や作品の変遷、時代背景などを学び、日本の芸術の優れた点について考えを深める。	(6)
	アニメーション表現	・アニメーション作成アプリを利用し、アプリの機能を十分に活用し、見る側に強い印象を与える作品を目指す。	(2) (3) (4) (6)
	鑑賞③(DVD)	・日本のアニメーションを鑑賞し、その描写力の巧みさ、緻密さを味わうとともに、ストーリー展開から受ける作品の情緒性も感じる。	(6)
三学期	パッケージデザイン	・普段見ている食品パッケージのデザインについて理解し、購買意欲を喚起するデザインを考えて制作する。	(2) (3) (4) (6)
	鑑賞④(DVD)	・自分の好きな画家の生涯について調べ、より深い作品鑑賞ができるようにする。	(6)
	1年間のまとめ	・1年間を振り返って自己評価をする。	(6)

備考 評価項目の(1)については、全ての単元において評価項目として用いる。